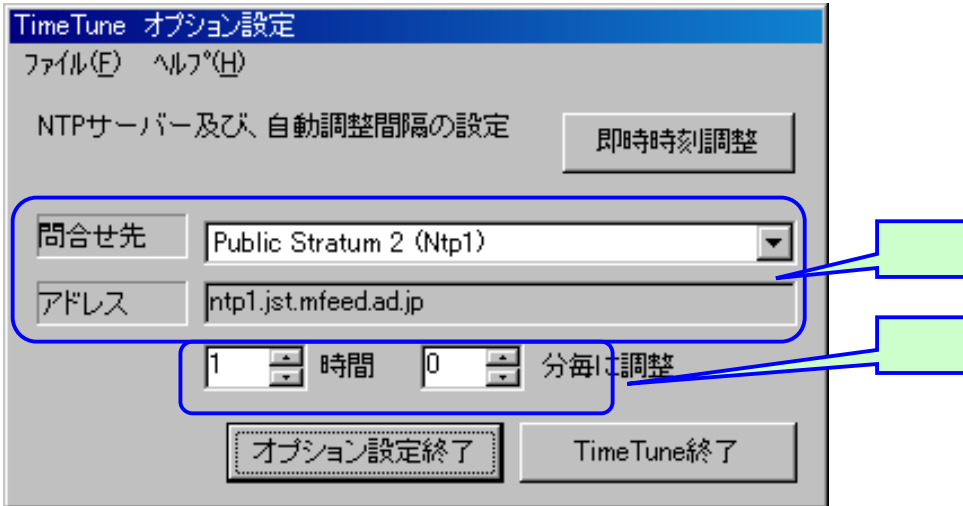


TimeTune 操作マニュアル

TimeTune の操作方法を説明します。

TimeTune オプション設定



問合せ先の NTP または、HTTP サーバーを指定します。

NTP サーバーがいくつか登録されていますが、変更しなくても問題ありません。

どれを指定してもほとんど変わりません。

但し、大学または、会社などで NTP のポート (123) を閉じられている場合には、ネットワーク内の NTP サーバーを任意に指定したり、HTTP サーバーに問合せたりすることで時刻修正が可能です。

また、TimeTune では、TimeTuneService が起動しているマシンに問合せることができます。

で指定したサーバーへの問合せ間隔を指定します。

プログラムの仕様で最低問合せ間隔は、5分になります。

基本的には、1日1度でも多い位です。でも、1日以上の間隔が設定できなかったり。。。

環境設定

環境設定

TimeTune関連製品共通の動作環境及び、調整項目を設定します。

動作・調整項目

起動時に時刻調整を実施 30 秒後に調整(MAX 300秒)

マシン固有誤差を設定 0:01:30 マイナス調整

HTTP問合せ環境(プロキシサーバー)

アドレス PROXYYYY ポート 8080

※ 会社などのパソコンで直接NTPサーバーへ問合せできない時のみ設定

設定 取消

プログラムが起動すると指定時間後に自動的に時刻調整を実施します。

ネットワーク状態が安定するもしくは、マシン起動(スタートアップのプログラムが全て立ち上がる)が完了する頃を見計らって設定します。

このチェックのON/OFFは、プログラム再起動後に有効になります。

作者は、この設定を300で設定し、すぐにTimeTuneを終了する設定にしています。非力なマシンでは、常駐ソフトがすぐない方が良く考えています。

日本標準時から前後24時間1秒単位で誤差を設定します。

パソコンでTV録画する際の録画プログラムの起動時間調整(数十秒~数分)や日本以外での使用(数時間)を考慮しています。作者は、会社のチャイムに合わせて誤差を設定しています。定時速攻退社のとき有効(^.^);

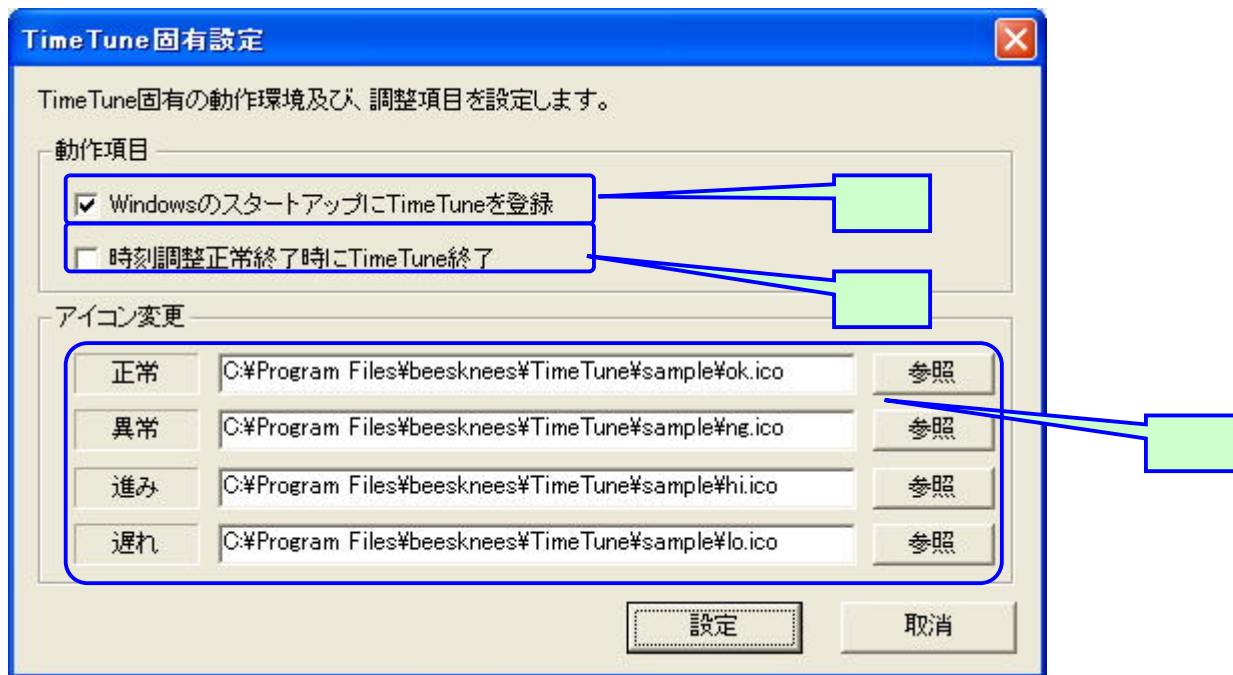
このチェックのON/OFFは、次回時刻問合せ時に有効になります。

HTTP問合せ時にプロキシ経由で問合せる場合に設定します。

NTPでの問合せができない会社などでは、プロキシを経由しないとHTTPのアクセスを許可しないケースが多々あると思います。そのような時は、Internet Explorerのオプション設定などに登録しているプロキシを参考に設定します。

プロキシの設定が必要ない場合は、何も記述しないで下さい。

TimeTune 固有設定



Windows のスタートアップに TimeTune を登録

ログイン後、直ちに TimeTune を起動します。

時刻調整正常終了後に TimeTune 終了

起動直後の時間調整もしくは、一定時間毎調整共に正常に時刻調整出来たときに TimeTune を終了します。

アイコン変更

16 × 16のサイズで作成されたアイコンファイルを指定できます。

当 HP からも Download できますので、ご利用してください。